

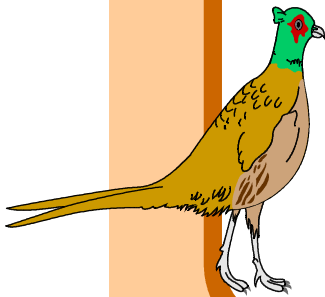
令和元年度

事業実績報告書



社会福祉法人 秀峯会

介護老人福祉施設きじの里
通所介護事業所きじの里
通所介護事業所清風
訪問介護事業所きじの里
グループホームきじの里
グループホーム清風
居宅介護支援事業所きじの里
五島市在宅介護支援センターきじの里
特定旅客自動車運送事業所きじの里
障害者自立支援事業所きじの里



〒853-0311

長崎県五島市岐宿町二本楠375番地

TEL0959-83-1246.1244 FAX0959-83-1247

<http://syuhoukai.jp/>

e-mail kijinosato@syuhoukai.jp

目 次

I	介護老人福祉施設きじの里の経営	1
1.	介護老人福祉施設	1
2.	短期入所生活介護	2
3.	行事実施内容	3
4.	職員研修	4
4. 1	施設外研修	4
4. 2	施設内研修	5
II	通所介護事業所きじの里の経営	6
1.	基本方針	6
2.	サービス内容	6
3.	事業実施内容	6
4.	日課表	6
5.	利用者状況	7
6.	行事実施内容	8
III	通所介護事業所清風の経営	9
1.	基本方針	9
2.	サービス内容	9
3.	事業実施内容	9
4.	日課表	9
5.	利用者状況	10
6.	行事実施内容	11
IV	訪問介護・介護予防訪問介護事業所きじの里の経営	12
1.	サービス内容（訪問介護）	12
2.	サービス内容（介護予防訪問介護）	12
3.	利用者の状況	12
4.	利用状況の推移	12
V	グループホームきじの里の経営	14
1.	利用状況	14
2.	年間行事実績	15
3.	施設内研修	16
VI	グループホーム清風の経営	17
1.	利用状況	17
2.	年間行事実績	18
3.	施設内研修	18
VII	居宅介護支援事業所きじの里の経営	19
1.	要介護度別利用状況	19
2.	給付管理表の提出状況	20
3.	予防給付プラン・総合支援プラン作成件数	20
VIII	五島市在宅介護支援センターきじの里の経営	21
1.	事業実績累計	21
2.	実態把握件数	21
IX	介護報酬の状況	22
X	事故、ヒヤリ・ハット発生状況	23
XI	生計困難者対策実施状況	28
XII	生計困難者レスキュー事業実施状況	28

I 介護老人福祉施設きじの里の経営

1. 介護老人福祉施設

令和元年度中における各月1日現在の入所者数を表1に示す。表2及び図1に、令和2年3月31日現在（今後特に表記がない場合、示された数値は全て令和2年3月31日現在のもの）の地区別入所者数を示す。

表3に入所者の年齢分布及び入所期間を示す。80才以上が84%と高齢化が進み平均入所期間は3年である。

また、入院日数は延べ305日、外泊6日、稼働率は98.1%であった。

表1 月別入退所者数の状況

	1日現在 入所者数	月内の異動		当該月延 べ人数
		入所	退所	
平成31年4月	50	0	0	50
令和元年 5月	50	0	0	50
令和元年 6月	50	0	0	50
令和元年 7月	50	2	2	52
令和元年 8月	50	1	1	51
令和元年 9月	50	2	2	52
令和元年10月	50	0	0	50
令和元年11月	50	1	2	51
令和元年12月	49	1	0	50
令和2年 1月	50	0	0	50
令和2年 2月	50	1	1	51
令和2年 3月	50	1	2	51

表2 地区別入所者の状況

地区	男性	女性	入所者数
旧福江市	0	9	9
岐宿町	3	24	27
玉之浦町	2	4	6
富江町	0	2	2
三井楽町	0	4	4
奈留町	0	1	1

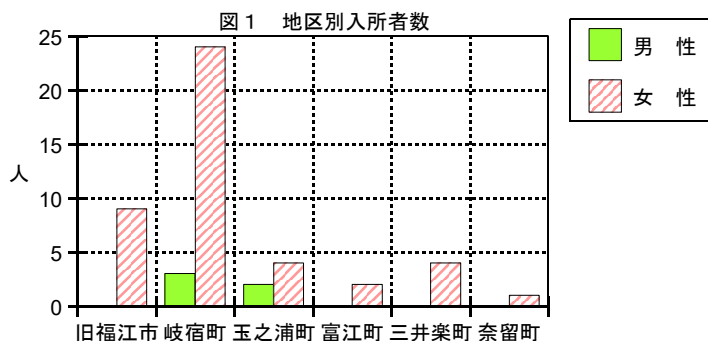


表3 入所者の年齢分布及び入所期間

年齢区分 (歳)	性 別	人 数	入所期間			
			6ヶ月未満	6ヶ月～ 1年未満	1年以上 5年未満	5年以上
～64	男	0				
	女	0				
65～69	男	1				1
	女	1			1	
70～79	男	0				
	女	6		1	3	2
80～	男	4			3	1
	女	37	4	3	20	10
合計		49	4	4	27	14

平均年齢 男性84.0才
女性86.0才
平均85.8才

平均入所期間 男性 7年 1ヶ月
女性 3年 7ヶ月
平均 3年 11ヶ月

表4及び図2に令和2年3月末の入所者の介護度を示す

要介護1 : 4%
 要介護2 : 6%
 要介護3 : 41%
 要介護4 : 29%
 要介護5 : 20%
 90%

平均介護度 3.55

表4 入所者の要介護度

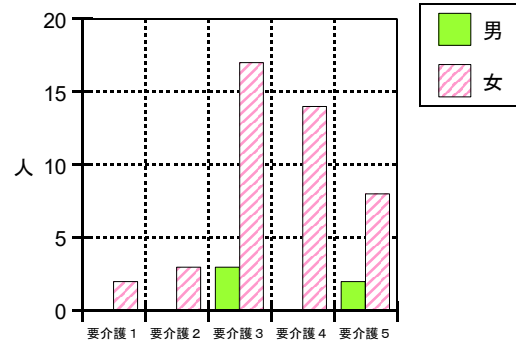
区分	男	女	計
要介護1	0	2	2
要介護2	0	3	3
要介護3	3	17	20
要介護4	0	14	14
要介護5	2	8	10
合計	5	44	49

<認知区分状況>

自立 : 2名 (4%)
 (I) 時々あり : 5名 (10%)
 (II) ややあり : 5名 (10%)
 (III) やや多い : 25名 (51%)
 (IV) 非常に多い : 10名 (21%)
 (M) 重度 : 2名 (4%)
 76%

平均介護度は3.55、要介護3以上の利用者が90%を占めている。また、嚥下困難で、鼻腔栄養を行っているご利用様が2名入所している。

図2 要介護度分布状況



2. 短期入所生活介護

表5 短期入所月別利用者数の状況

表5に短期入所生活介護事業(ショートステイ)月別利用者数の状況を示す。

前年度は延べ2,455日の利用であったが、令和元年度は2,188日と267日減、障害者自立支援ショート利用は3日、稼働率は59.8%であった。

1日平均6人、平均介護度2.4

入所待ちの長期利用者の施設入所の為、利用日数の減少になった。

	延べ日数			当該月実利用者数	障害者自立支援ショート延べ日数
	介護保険	私的契約	合計		
4月	196	10	206	13	0
5月	194	10	204	14	0
6月	229	6	235	15	0
7月	253	12	265	13	0
8月	208	10	218	12	0
9月	144	8	152	10	0
10月	137	11	148	7	0
11月	149	7	156	10	0
12月	116	7	123	13	0
1月	141	8	149	10	0
2月	166	10	176	12	0
3月	142	14	156	11	3
合計	2075	113	2188	140	3

表6 介護度別ショートステイ利用者延べ日数

予防ショート	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
66	738	185	763	416	20	2,188

経管(鼻腔)栄養者: 0名

3. 行事実施内容

表7に令和元年度中に実施した行事等を示す。ユニット毎にそうめん流し、蛍狩り、花火大会、焼き芋、地域の祭りなどに参加したりして、ご利用者様に季節感を味わってもらった。また運動会、納涼祭、敬老会、文化祭を実施し、地域の皆様との交流を図った。

火災の防止と万一の災害（地震、風水害）発生に備えて、夜間と昼間を想定した総合避難訓練をそれぞれ1回（計2回）、さらに消火器、屋内消火栓を用いた消火訓練を1回実施した。

表7 令和元年度年間行事実施表

月	行事計画	日	実 施	月	行事計画	日	実 施
4	花見 誕生会	1	選挙	11	誕生会	17	文化祭
		8	桜見物			20	誕生会
		8	つわむき				
		21	バ イソグ ツア-				
		25	御大師様祭り				
		27	誕生会				
5	入所者健康診断 母の日		入所者健康診断 (血液検査)	12	大掃除 クリスマス 忘年会	16	白百合愛児園クリスマス会
		12	母の日茶話会			18	誕生会
		23	誕生会 ワックスかけ			21 28	岐宿中学校ハンドベル 餅つき 門松作り
6	運動会 父の日	1	運動会	1	新年祝賀会 鏡開き 誕生会	1	初詣/住吉神社
		11	バスハイク/漁ヶ崎			2	カラオケ大会
		14	野菜収穫			4	書き初め
		17	誕生会			28	誕生会
23	バ ラソソグ 応援						
7	誕生会	7	七夕祭り	2	節分・豆まき 誕生会	3	節分・豆まき
		9	選挙			18	誕生会
		16	誕生会			27	入所者健康診断
		26	流しそうめん			20	南高フェリッブプレゼント
8	誕生会	3	納涼祭	3	ひな祭り	3	ひな祭り
		30	誕生会			18	避難訓練
9	誕生会 敬老祝賀会	11	縁日	3	ひな祭り 誕生会	26	(夜間想定) 岐宿中学校 お花プレゼント
		14	敬老会				
10	誕生会 バスハイク	24	誕生会	3	ひな祭り 誕生会	3	ひな祭り
		29	避難訓練(昼間想定) ワックスかけ			18	避難訓練
						26	(夜間想定) 岐宿中学校 お花プレゼント

4. 職員研修

4. 1 施設外研修

令和元年度中における職員研修の実施状況を表8に示す。施設内外での研修を実施し、職員の資質向上に努めた。

表8 職員の研修実施状況（施設外）

部署・人数	職種	実施日	場所	内容
特養1名	施設長	5月9日	佐賀市	技能実習生日本語教育実習事前研修
特養1名	施設長	5月21日	札幌市	介護現場のICT活用研修会
特養1名	看護職	5月31日	長崎市	食中毒（感染症）予防研修会
特養1名	介護職	6月4日～6月5日	長崎市	中堅職員研修会
特養1名	施設長	6月6日～6月7日	佐賀市	技能実習生日本語教育実習事前研修
特養1名	施設長	6月10日～6月12日	佐賀市	技能実習生日本語教育実習事前研修
特養1名	看護職	6月11日	長崎市	施設看護師研修会
特養1名	介護職	6月11日	長崎市	ケアマネ更新研修
特養1名	看護職	6月12日	長崎市	施設での「看取り」研修会
居宅1名	ケアマネ	6月13日～6月14日	長崎市	ケアマネ更新研修
特養1名	介護職	6月18日	長崎市	高齢者特有の症状・疾患を学ぶ研修会
特養1名	施設長	6月27日	佐賀市	技能実習生日本語教育実習事前研修
特養1名	介護職	6月27日～6月28日	長崎市	チームリーダー研修会
特養1名	看護職	7月4日	長崎市	貧困なから丁寧なケアへ！拘縮・褥瘡予防研修
特養1名	介護職	7月4日～7月7日	長崎市	ケアマネ更新研修
特養1名	看護職	7月5日	長崎市	リラックスした状態を維持するツェンツァン研修会
特養1名	介護職	7月5日	長崎市	〃
特養1名	施設長	7月7日	福岡市	日本の介護・アジアのkaigo 研修会
居宅1名	ケアマネ	7月12日～7月13日	長崎市	ケアマネ更新研修
デイ1名	介護職	7月18日	長崎市	座位でも誰でもできるレクリエーションプログラム研修会
特養1名	介護職	8月1日～8月3日	長崎市	ケアマネ更新研修
特養1名	施設長	8月23日	長崎市	長崎県経営協セミナー
特養1名	介護職	9月27日	長崎市	介護の現場の排泄ケア実践ポイント
特養2名	介護職	10月1日～10月2日	神奈川県	全国大会 in 神奈川県
特養1名	施設長	10月1日～10月2日	神奈川県	〃
特養1名	介護職	10月4日	長崎市	ハラスメントの防止・対応研修会
特養1名	介護職	10月25日	長崎市	チームリーダーフォローアップ研修会
特養1名	ケアマネ	10月28日	長崎市	備えを具体化する福祉の災害対応研修会
特養1名	介護職	11月8日	長崎市	アセッサー講習
特養1名	介護職	11月25日	長崎市	夜勤を任せられる介護スタッフ育成研修会
特養1名	介護職	11月29日	長崎市	中堅職員フォローアップ研修会
特養1名	看護職	12月11日	長崎市	認知症高齢者の職のトラブル対応研修会
特養1名	看護職	12月19日	長崎市	感染症予防研修会
特養1名	ケアマネ	12月19日	長崎市	生活困難者レスキュー事業全体会
特養1名	施設長	1月10日	長崎市	外国人介護人材受入促進セミナー
特養1名	相談員	1月22日	長崎市	福祉現場の労務管理研修会
GH1名	介護職	1月23日～1月24日	福岡市	技能実習指導員講習会
特養1名	施設長	1月28日	長崎市	長崎県経営協セミナー
特養1名	施設長	2月14日	福岡市	九社連老人福祉施設協議会施設長研修会
特養1名	施設長	3月12日	長崎市	長崎県社会福祉法人経営者協議会総会・研修会

4. 2 施設内研修

サービス向上に不可欠な職員の資質向上、及び施設経営理念の理解のため各種研修会を開催した。さらに、参加した各種研修会に関する報告会を開催し、新しいサービス内容、技術習得のための内部研修を実施した。これらの結果を表9に示す。

表9 施設内研修会・勉強会の開催状況

開催日	研修会・内容	参加者
5月15日・16日・18日・21日 ＜到達度勉強会＞	＜身体レベルに合わせた排泄介助方法について＞ ・基本を守りながら身体レベルに合わせた排泄介助を学ぶ	計27名
6月22日・23日・24日・27日 ＜到達度技術確認＞	＜排泄介助＞ ・モデルを使って排泄介助について学んだ技術を発表、確認	計27名
6月27日 ＜感染症、食中毒予防研修＞	＜感染症、食中毒予防について＞ ・施設内で起こりやすい感染症とその対策 ・食中毒予防と手洗いの実技指導	計25名
6月25日・27日 ＜接遇勉強会＞	＜接遇について＞ ・身だしなみの基本、コミュニケーションなどを学ぶ	計48名
6月25日・27日 ＜リスク勉強会＞	＜救急対応法について＞ ・気道内異物の病態と救急処置について ・ハイムリック法、背部叩打法の実技指導	計48名
8月30日 ＜看取り研修＞	＜看取りケアについて＞ ・エンゼルケアのプロセス、心がけと支援について学ぶ	計32名
10月11日 ＜研究発表会＞	＜研究発表＞ ・各セクション（特養、看護、デイ）ごとに課題を決めそれについて研究し その成果を発表する。	計34名
9月20日・24日・28日 ＜到達度勉強会＞	＜移乗・移動介助について＞ ・利用者、介護者に負担にならない移乗、移動の介助技術を学ぶ	計37名
10月17日・24日・26日 ＜到達度技術確認＞	＜移乗・移動介助＞ ・移乗・移動介助について学んだ介護技術を発表、確認	計28名
10月29日 ＜リスク勉強会＞	＜防災訓練＞ ・災害時の対応について ・非常食の確認・試食	計38名
1月6日・8日 ＜到達度勉強会＞	＜入浴介助について＞ ・入浴介助の基本（準備、手順や一連の動き）を学ぶ	計30名
1月27日・30日 ＜到達度技術確認＞	＜入浴介助＞ ・入浴時の介助を学んだ技術をモデルを使い実践、意見交換行う	計26名
2月6日、12日 ＜身体拘束、虐待防止研修＞	＜身体拘束廃止、虐待防止について＞ ・身体拘束の3原則、緊急やむを得ない場合の対応 ・虐待の基本的理解、不適切ケアについて学ぶ	計38名
2月6日、12日 ＜感染症研修＞	＜感染症予防について＞ ・感染症の予防、まん延防止について（嘔吐物処理実技）	計38名
3月27日 ＜研究発表会＞	＜研究発表＞ ・各セクション毎が課題について研究しその成果を発表する	計26名

Ⅱ 通所介護事業所きじの里の経営

1. 基本方針

要介護状態等となった場合においても、その利用者が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行い、心身機能の維持、向上に資するよう事業を実施した。

2. サービスの内容

- ①利用日は日曜日・年始3日を除き、毎日実施
- ①利用定員は1日18名
(おおむね要介護認定者7名、通所A5型 8名、通所A7型 3名)
- ③利用料は利用内容により一割の自己負担、A7型は800円/回
- ④パワーリハビリテーション
パワーリハビリ器具を使用して機能訓練実施、サーキット訓練、ボール運動を実施。
- ⑤レクリエーション活動
輪投げ、ゲート通しリレー、ビンゴゲーム、バスハイク
- ⑥クラブ活動
手工芸、ちぎり絵、カラオケ、ハンドベル

3. 事業実施内容

各個人の通所介護計画に基づき、下記のサービスを提供

- 1) 送迎 専用車で送迎
- 2) 健康状態の確認 血圧、体重、全身状態の観察と、健康管理指導
- 3) 食事 カロリー、栄養などを計算した献立に基く暖かい食事の提供
- 4) 入浴 一般浴、特殊浴を実施
- 5) 介護 移動や排泄の介助、見守り等のサービス
- 6) 機能訓練 機能訓練指導員の指導の下に、個別的に日常生活動作の訓練を実施
- 7) 生活相談 利用者の生活や心身機能についての相談、援助等
- 5) その他日常生活に必要なサービス

4. 日課表

8:00	9:00	12:00	13:30	15:30	16:30
専用車にて迎え	健康チェック 機能訓練・脳トレ 入浴 マッサージ機器	昼食	休憩 創作活動 機能訓練 クラブ活動	ボール体操 サーキット訓練 レクリエーション おやつ	休憩 専用車にて送り

5. 利用者状況

表10、11に平成30年度、令和元年度要介護度別通所介護利用者数を示す。

利用延べ人数では、前年度より379名の増加、1日当たりの平均利用者数は16.6人に増加した。サービス内容を見直し、個々に応じたクラブ活動やレクリエーションに変化をつけ、ご利用者様に楽しみにして頂けるようになり、休むことが減った為と思われる。

また、年度別の利用者数を比較すると年々増加し、制度改正前の利用者数に少しずつ近づいている事がわかる。引き続き、サービス内容、接遇の向上を目指し新規利用者の獲得に努める。

表10 平成30年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A7型	46	51	55	55	47	40	42	52	49	46	34	47	564
総合事業1	103	121	124	127	116	137	148	146	123	120	142	144	1,551
総合事業2	87	100	97	99	91	111	125	107	100	91	92	111	1,211
要介護1	60	62	55	56	46	55	64	61	76	73	80	90	778
2	11	18	26	24	14	25	24	24	8	7	6	0	187
3	24	27	27	25	26	19	9	6	8	13	13	12	209
4	34	30	29	35	30	26	21	9	9	1	9	14	247
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	365	409	413	421	370	413	433	405	373	351	376	418	4,747
営業日	25	27	26	26	26	25	27	26	26	24	24	26	308

1日平均利用者数 15.4人

表11 令和元年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A7型	46	43	40	45	34	39	45	40	37	33	30	33	465
総合事業1	146	133	145	158	118	128	135	128	112	100	111	110	1,524
総合事業2	117	91	100	109	92	98	91	110	109	113	114	106	1,250
要介護1	111	116	123	126	112	93	137	142	118	108	113	145	1,444
2	0	0	5	6	9	10	11	7	0	0	0	0	48
3	25	26	16	12	11	11	14	11	0	0	0	0	126
4	17	24	21	23	21	23	23	12	17	27	29	32	269
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	462	433	450	479	397	402	456	450	393	381	397	426	5,126
営業日	26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	25	26	309

1日平均利用者数 16.6人

通所介護利用者延べ人数推移

H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
5,226	4,429	4,465	4,747	5,126

(H28年度から制度改正のため減)

表12 地区別通所介護利用登録者数
(通所介護・総合事業利用数含む)

居住地・性別	男	女	合計
岐 宿	1	2	3
河 務	0	1	1
川 原	0	3	3
楠 原	0	1	1
松 山	0	7	7
志 田 尾	1	2	3
寺 脇	0	3	3
坂 の 上	2	7	9
城	0	8	8
南 部	2	1	3
柿ノ木場	0	2	2
二 本 楠	5	14	19
荒 川	4	5	9
幾 久 山	1	0	1
福 江	1	0	1
大 曲	1	0	1
合 計	18	56	74

	最高	最低	平均
男	94	69	84.6
女	101	77	86.9
全体平均			85.8歳

6. 行事实施内容

表13 行事实施内容

	計 画	実 施		計 画	実 施
4月	バスハイク 折り紙	花見・買い物 (4/1~4/6)	10月	バスハイク ハンドベル	ハンドベル 誕生会
5月	折り紙 バスハイク	花作り(紫陽花) 運動会練習 バスハイク・買い物・足湯 (5/13~5/16)	11月	文化祭 折り紙	きじの里文化祭(18日) 岐宿町文化祭見学(3日) 花作り 誕生会
6月	運動会 バスハイク 誕生会	きじの里運動会(1日) 紫陽花花見(6/10~6/15)	12月	忘年会・誕生会 足湯	誕生忘年会・ゲーム大会 (16日~21日) 岐中文化部発表会(21日)
7月	誕生会 折り紙	誕生会	1月	新年会 福笑い 折り紙	新年会・初詣(住吉神社) 福笑い(4~10日) 誕生会
8月	納涼祭 バスハイク	きじの里納涼祭(4日) バスハイク(8/13~8/15) 誕生会	2月	節 分	豆まき 誕生会
9月	誕生会 避難訓練	誕生会・ゲーム大会 きじの里敬老会 文化祭作品作り 避難訓練(29日)	3月	雛 祭 り 避難訓練 誕生会・花見	バスハイク三井楽雛飾り・足湯 (2/25~3/2) 避難訓練(18日) 誕生会

・3か月毎の誕生会を毎月に変更し、誕生日当日か利用日にみんなでお祝いし、喜寿・米寿・白寿のお祝いも実施した。また年2回のゲーム大会を実施した。

Ⅲ 通所介護事業所 清風の経営

1. 基本方針

要介護状態等となった場合においても、利用者が可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行い、心身機能の維持・向上に資するよう事業を実施した。

介護予防対象者については、日常生活において自立した生活が維持できるよう、レクリエーション活動やクラブ活動を通じて、要介護状態への進行を防止するとともに、運動器による機能向上を機能訓練指導員の指導の下実施し、体力の維持向上に資するよう事業を実施した。

2. サービスの内容

- ①利用日は土、日、年始3日を除き、毎日実施
- ②利用定員は10名（おおむね要介護認定者4名、通所A6型 4名、通所A7型2名）
- ③利用料は利用内容により一割の自己負担、 A7型 800円/回
- ④機能訓練
筋力増強運動及び平行棒、プーリー等の各種器具を使用しての機能訓練を実施
- ⑤レクリエーション活動
卓球、お手玉ボーリング、室内ペタンク、脳トレ（頭の体操）など
- ⑥クラブ活動
手工芸、カラオケ、折り紙、編み物など

3. 事業実施内容

各個人の通所介護計画に基づき、下記のサービスを提供

- 1) 送 迎 専用車で送迎
- 2) 健康状態の確認 血圧、体重、全身状態の観察と、健康管理指導
- 3) 食 事 カロリー、栄養などを考慮した暖かい食事の提供
- 4) 入 浴 一般浴、特殊浴を実施
- 5) 介 護 移動や排泄の介助、見守り等のサービス
- 6) 機能訓練 機能訓練指導員の指導の下に、個別的に日常生活動作の訓練を実施
- 7) 生活相談 利用者の生活や心身機能についての相談、援助等
- 8) その他日常生活に必要なサービス

4. 日 課 表

8:00	9:00		12:00	13:30		15:00	15:40						
専 用 車 に て 迎 え	健 康 チ ェ ッ ク	機 能 訓 練	入 浴	マ ッ サ ジ	嚙 下 体 操	昼 休 憩 食	マ ッ サ ジ	機 能 訓 練	ボ ー リ ン グ 運 動	ク ラ ブ 活 動	レ ク リ エ ー シ ョ ン	お 休 み	専 用 車 に て 送 り

5. 利用者状況

表14、15に平成30年度、令和元年度の要介護度別通所介護利用者数を示す。30年度と比較して50名増加した。前年度に比べて介護認定利用者の延べ人数106名増えている。今後もサービス内容、職員の質の向上を図りながら利用者が増えるように関係機関及び居宅介護支援事業所と連絡を取り合いながら、介護認定を受けた新規利用者の獲得に努める。

表14 平成30年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A7型	41	46	39	40	40	37	43	51	44	45	44	45	515
総合事業1	14	18	13	17	23	19	28	22	22	19	20	18	233
総合事業2	32	33	29	38	33	33	31	25	21	22	25	23	345
要介護1	21	29	30	28	28	33	48	47	48	46	44	42	444
2	39	38	36	30	35	32	45	41	39	39	39	39	452
3	26	27	26	28	29	14	18	18	17	15	15	14	247
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	173	191	173	181	188	168	213	204	191	186	187	181	2,236
営業日	21	23	21	22	23	20	23	22	21	20	20	22	258

1日平均利用者数 8.6人

表15 令和元年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A7型	48	56	46	52	44	49	57	39	37	36	36	37	537
総合事業1	19	25	17	26	21	21	17	16	19	16	23	32	252
総合事業2	25	22	20	20	18	20	24	20	18	20	19	22	248
要介護1	60	67	63	59	54	55	64	65	65	59	39	43	693
2	19	20	15	16	16	10	5	4	4	4	28	37	178
3	16	15	14	16	18	16	17	14	22	15	15	9	187
4	0	0	0	22	20	21	20	20	19	20	23	26	191
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	187	205	175	211	191	192	204	178	184	170	183	206	2,286
営業日	22	23	20	23	22	21	23	21	22	20	20	22	259

1日平均利用者数 8.8人

表16 地区別通所介護利用登録者数

居住地 性別	男	女	合計
大荒町		2	2
坂の上		1	1
上大津町	1	5	6
下大津町		1	1
木場町	1	4	5
籠淵町	1	1	2
奥浦町	1	1	2
紺屋町		1	1
松山町		2	2

	最高	最低	平均
男	94	72	86
女	101	72	85
全体平均	85歳		

中央町		1	1
池田町		1	1
武家屋敷		2	2
江川町		1	1
幸町		2	2
吉久木町	1	2	3
吉田町		1	1
丸木町		1	1
富江町		1	1
合 計	5	30	35

今後も地区の範囲を広げ新規利用者の獲得に務め、利用を休まれた時は振替え利用をして頂く様に対応して、利用者の増加に取り組んでいく。

6. 行事实施内容

表 1 7 行事实施内容

	計 画	実 施		計 画	実 施
4 月	花見 菜の花見学 買い物ツアー	花見 (1日~5日) 菜の花・芝桜見学 買い物 (コスモス)	1 0 月	コスモ見学 文化祭作品作り 買い物ツアー	コスモス見学 (23日) 貼り絵・書道 買い物 (エレナ)
5 月	バスハイク 手工芸 かたか	足湯 (荒川) 折り紙 かたか	1 1 月	文化祭見学 文化祭作品作り バスハイク	貼り絵・布細工 足湯 (荒川)
6 月	紫陽花見学 七夕飾り作り 手工芸 誕生会	紫陽花見学 (6、7日) 七夕飾り作り 貼り絵 誕生会 (24日~28日)	1 2 月	誕生会 買い物ツアー クリスマス会	誕生会 (23日~27日) 買い物 (シティ) クリスマス (24日)
7 月	七夕祭り 文化祭作品作り バスハイク	七夕祭り (7日) 文化祭作品作り 魚津ヶ崎公園	1 月	新年会 手工芸 買い物ツアー	初詣 (7日、8日) かたか・手工芸 買い物 (エレナ)
8 月	納涼祭 文化祭作品作り 買い物ツアー	折り紙 買い物 (富江) かき氷	2 月	節分 手工芸 バスハイク	節分 (3日) 布細工、折り紙細工 奥浦 (河津桜見学)
9 月	誕生会 避難訓練 文化祭作品作り バスハイク	誕生会 (23日~27日) 消防・避難訓練 貼り絵、布細工 香珠子	3 月	雑 祭 り 誕生会 避難訓練 バスハイク 買い物ツアー	三井楽雑飾り見学 誕生会 (23日~27日) 避難訓練 (27日) 鬼岳 買い物 (エレナ)

IV 訪問介護・介護予防訪問介護事業所きじの里の経営

1. サービス内容（訪問介護）

- ①利用日は、日曜日以外の毎日
- ②サービス提供時間帯は（平常の時間帯）午前9時～午後5時
- ③利用料はそれぞれのサービスについて介護報酬の1割が自己負担
- ④サービスの概要
 - （1）身体介護・・・入浴介助、排泄介助、食事介助、体位交換、通院介助等
 - （2）生活援助・・・調理、洗濯、掃除、買い物等
 - （3）通院等乗降介助・・・通院時に事業所のヘルパーが病院まで同行、車への乗り降りや屋内外における移動の介助、受診の手続きなどを行う。

2. サービス内容（介護予防訪問介護）

- ①利用日は、日曜日以外
- ②サービスの概要

自立支援の観点から、利用者が出来る限り自ら家事等を行うことができるように支援することを目的としてして援助する。（調理・洗濯・掃除・買い物・薬の受取り代行）
- ③利用料はそれぞれのサービスについて介護報酬の1割が自己負担

3. 利用者の状況

表18 利用者介護度状況（令和元年度利用者）

介護度	総合事業	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実人員	18	9	2	1	0	0	30

表19 月別利用者数（令和元年度）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	6	5	5	5	5	5	5	6	6	7	7	7	69
総合事業	17	17	16	17	17	16	17	17	17	16	15	16	198
合計	23	22	21	22	22	21	22	23	23	23	22	23	276

* 30年度1月あたり平均人数22人
→ 1年度1月あたり平均人数23人

4. 利用状況の推移

- ①サービス種類別ヘルパー稼働時間（単位 ○時間：○分）

表20 訪問介護の月別稼働時間の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身介	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
身生	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
生活	28:00	33:00	27:00	35:00	37:00	34:00	33:00	38:00	34:00	36:00	33:00	44:00	412:00
通院	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
計	28:00	33:00	27:00	35:00	37:00	34:00	33:00	38:00	34:00	36:00	33:00	44:00	412:00

表 2 1 介護予防訪問介護・総合事業訪問介護の月別稼働時間推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問Ⅰ	37:00	44:00	34:00	44:00	43:45	40:00	43:00	66:00	44:00	33:00	32:00	38:00	498:45
訪問Ⅱ	26:00	20:00	24:00	26:00	27:00	24:00	28:00	37:00	26:00	24:00	25:00	26:00	313:00
訪問A3	15:45	14:15	12:00	12:00	9:00	8:15	12:00	12:45	12:15	10:30	12:00	13:30	144:15
計	78:45	78:15	70:00	82:00	79:45	72:15	83:00	115:45	82:15	67:30	69:00	77:30	956:00

* 30年度：1月あたり平均稼働時間180時間 1日あたり平均稼働時間：6.9時間
 → 1年度：1月あたり平均稼働時間114時間 1日あたり平均稼働時間：4.3時間

表 2 2 ヘルパー月間延べ利用回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活	28	33	27	35	37	34	33	38	34	36	33	44	412
通院乗降	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合事業	84	83	74	86	83	75	87	97	86	71	73	82	981
計	112	116	101	121	120	109	120	135	120	107	106	126	1393

* 30年度1月あたり平均利用回数 121回 1日あたり平均利用回数：4.6回
 → 1年度1月あたり平均利用回数 116回 1日あたり平均利用回数：4.4回

表 2 3 特定旅客自動車運送事業月間延べ利用回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護													0
総合事業 護	0	4	2	2	2	0	2	2	2	2	2	2	22

* 30年度特定旅客自動車運送事業の年間利用回数は 22回、1月あたり平均 1.8回
 → 1年度特定旅客自動車運送事業の年間利用回数は 22回、1月あたり平均 1.8回

表 2 4 介護保険外ヘルパー自費利用月間延べ回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自費2時間													0
院内介助30分													0

(職員配置2.5以上で時間内であれば援助可能：1時間2000円)

元年度は若干利用者・利用回数が増えた。

特定旅客自動車運送事業についても、病院までの送迎希望者等、顧客ニーズに合ったサービスができるよう新規利用者の獲得が必要である。

V グループホームきじの里の経営

表 2 5 月別入退所者数の状況

1. 利用状況

令和元年度中における各月1日現在の入所者数を表25に示す。

表26に、令和2年3月31日現在の地区別入所者数を示す。岐宿町5名、旧福江市2名、三井楽町1名、大阪市1名、玉之浦町、奈留町、富江町からの利用が無い。今後、利用のない町の居宅介護支援事業所への情報提供を積極的に行う必要がある。

稼働率は、99.1%、

平均介護度は2

平均年齢は92.3歳であった。

	1日現在 入所者数	月内の異動		当該月 延べ人数
		入所	退所	
平成31年4月	9	0	0	9
令和元年 5月	9	0	0	9
令和元年 6月	9	0	0	9
令和元年 7月	9	0	0	9
令和元年 8月	9	1	1	10
令和元年 9月	9	1	1	10
令和元年 10月	9	0	0	9
令和元年 11月	9	1	1	10
令和元年 12月	9	0	0	9
令和2年 1月	9	0	0	9
令和2年 2月	9	0	0	9
令和2年 3月	9	0	0	9

表 2 6 地区別入所者の状況

地 区	男性	女性	入所
旧 福 江 市	1	1	2
岐 宿 町	1	4	5
玉 之 浦 町	0	0	0
三 井 楽 町	1	0	1
大 阪 市	0	1	1
合 計	3	6	9

表 2 7 入所者の要介護度

区 分	男	女	計
要介護1	1	2	3
要介護2	0	3	3
要介護3	1	1	2
要介護4	1	0	1
要介護5	0	0	0
合 計	3	6	9

表27に、令和2年3月末日におけるグループホーム利用者の介護度を示す。

表28、表29に平成30年度、令和元年度介護度別の延べ人数を示す。延べ利用人数では30年度と比較すると1人の減となった。ご利用者様の健康管理に努め、病気の早期発見、早期治療を心がけ医療機関との連携を強化し、疾病の悪化や進行を防ぐことができた。

表 2 8 平成30年度要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2	0	0	0	23	31	30	31	30	0	0	0	0	145
要介護1	30	30	30	31	93	90	93	90	124	124	112	124	971
要介護2	91	124	120	112	62	59	62	60	62	30	28	31	841
要介護3	60	62	60	34	31	30	31	30	31	31	28	31	459
要介護4	79	62	60	62	62	60	62	60	62	93	84	93	839
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	260	278	270	262	279	269	279	270	279	278	252	279	3,255

表 2 9 令和元年度要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護 1	120	124	120	124	124	112	124	90	93	93	87	93	1304
要介護 2	30	31	30	31	40	60	62	70	93	92	87	79	705
要介護 3	60	62	60	62	62	60	62	69	62	60	58	62	739
要介護 4	60	62	60	62	49	30	31	30	31	31	29	31	506
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	270	279	270	279	275	262	279	259	279	276	261	265	3,254

2. 年間行事実績

表 3 0 に令和元年度中に実施した行事等を示す。住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、常にご利用者の心身の状況を把握して、心穏やかに安心して過ごせるようサービスの提供に務めた。

積極的に社会参加ができるよう、外出などの機会を多く持ち個別のニーズを把握して支援を行った。また、残存機能を活かした生活リハビリを継続し、ご利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活が送れるよう個別ケアに努めた。

年 2 回の防火訓練を実施し、3 月の訓練では夜勤者を主体とした夜間避難訓練を行い職員の防災意識の向上を図った。

表 3 0 令和元年度行事実施状況

月	行事計画	日	実 施	月	行事計画	日	実 施
4月	花見：バスハイク	5	花見、ツワ引き	10月	避難訓練	29	避難訓練（昼間想定）
	山菜採り	9	夏野菜苗植え		コスモス見物	30	誕生会：白寿祝い
	夏野菜苗植え	16	ドライブ		冬野菜苗植え	31	ドライブ（鬼岳）
		29	どら焼き作り		誕生会	30	
5月	母の日	5	鯉のぼり見物・琴石	11月	文化祭	4	出張散髪
	運営推進会議	12	母の日昼食会		運営推進会議	17	きじの里文化祭
	あじさい見学	24	運営推進会議		バスハイク	27	ふるさと巡り
					29	運営推進会議	
6月	運動会	1	きじの里運動会	12月	家族会清掃	12	外出支援（自宅へ）
	父の日	6	あじさい見物		クリスマス昼食会	15	家族会清掃
	芋の苗植え	15	バスハイク（三井楽）		誕生会	16	お遊戯会見学
		16	父の日昼食会		そば作り	25	誕生会・クリスマス会
	バスハイク	27	よもぎ団子作り		30	そば作り、すす払い	
7月	七夕昼食会	6	中学校プラス演奏会	1月	新年祝賀会	1	新年会
	出張散髪	7	七夕昼食会		初詣	2	初詣
	運営推進会議	18	運営推進会議		七草がゆ	3	ふれあい喫茶（ケーキ）
		30	実地指導		運営推進会議	7	七草
8月	納涼祭	3	きじの里納涼祭		2月	節分	3
	墓参り	8	アイスクリーム作り	おやつ作り		5	運営推進会議
	おやつ作り	19	送別会	回転寿司		14	バレンタインデーお茶会
				18		出張散髪	
9月	敬老会	16	敬老会	3月	雑祭り	3	雑祭り昼食会
	おやつ作り	23	お彼岸 ぼた餅作り		運営推進会議	15	3月誕生会
	運営推進会議	30	運営推進会議		誕生会	18	運営推進会議
	健康診断				18	避難訓練（夜間想定）	

* 回診は2週間に1回。訪問看護は毎週水曜日。個別のニーズを把握しその都度、自宅への外泊・外出、美容院への外出、買い物など、地域へ出かけ自立した生活が送れるよう支援した。

3. 施設内研修

知識と技術向上のための内部研修を実施した。職員のレベルアップに取り組みご利用者の変化に迅速に対応できるよう、介護のプロとしてケアサービスの質の向上や、自己啓発に取り組んだ。

表 3 1 令和元年度施設内研修会・勉強会の開催状況

開催日	研修会・内容	参加者
4月9日 〈倫理と法令遵守〉	・倫理と法令遵守に関する研修	計7名
5月10日 〈接遇について〉	・接遇とマナーについて（クレーム対応）	計7名
6月10日 〈緊急時の対応について〉	・救急救命法、誤嚥事故防止について	計7名
7月10日 〈身体拘束について〉	・身体拘束廃止に関する研修	計6名
8月9日 〈認知症ケアについて〉	・認知症への理解、認知症高齢者への接し方について	計7名
9月10日 〈リスク管理について〉	・事故発生予防、再発防止に関する	計7名
10月10日 〈感染症勉強会〉	・感染症及び食中毒発生及びまん延の防止に関する研修	計7名
11月8日 〈栄養について〉	・高齢者の栄養について	計7名
12月10日 〈嚥下機能について〉	・嚥下機能に関する研修	計7名
1月10日 〈介護保険について〉	・介護保険制度について	計7名
2月10日 〈虐待防止について〉	・プライバシー保護と虐待防止について	計7名
3月18日 〈避難訓練〉	・災害時の避難、救出等に関する訓練	計7名

V グループホーム清風の経営

表32 月別入退所者数の状況

1. 利用状況

令和元年度中における各月1日現在の入所者数を表32に示す。退所者は7名。表33、表34は、令和2年3月31日現在の入所者状況数を示す。表33 地区別の利用状況は、旧福江地区在住の利用者が8名。岐宿地区が1名。

表34に要介護度別入所者数を示す。平均介護度 3.7。平均年齢85.6歳。稼働率98.8%。

	1日現在 入所者数	月内の異動		当該月 延べ人数
		入所	退所	
平成31年 4月	8	1	0	9
令和 元年5月	9	0	0	9
令和 元年6月	9	0	0	9
令和 元年7月	9	0	0	9
令和 元年8月	9	0	0	9
令和 元年9月	9	0	0	9
令和 元年10月	9	0	0	9
令和 元年11月	9	0	0	9
令和 元年12月	9	0	0	9
令和 2年 1月	9	0	0	9
令和 2年 2月	9	0	0	9
令和 2年 3月	9	0	0	9

表33 地区別入所者の状況

地 区	男性	女性	入所者数
旧福江市	1	7	8
岐宿町	0	1	1
三井楽町	0	0	0
玉之浦町	0	0	0
合 計	1	8	9

表34 入所者の要介護度

区 分	男	女	計
要介護1	0	0	0
要介護2	0	1	1
要介護3	1	1	2
要介護4	0	5	5
要介護5	0	1	1
合 計	1	8	9

表35、表36に平成30年度、令和元年度の介護度別延べ人数を示す。延べ人数では、30年度と比較すると退所と入院件数が減少したため、141日の憎となった。今後も日頃の健康管理、疾病の早期発見、悪化予防等、医療機関との連携を図り利用者負の健康の維持に努めたい。待機者の確保については、随時に各関係機関、居宅介護支援事業所等へ情報提供したり、見学や電話問い合わせ等の対応を行った。

表35 平成30年度 要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要介護1	60	71	83	78	62	37	31	45	91	121	84	82	845
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護3	0	0	0	0	14	30	31	30	31	31	28	31	226
要介護4	110	124	120	124	121	120	124	94	93	93	112	124	1359
要介護5	36	31	30	31	31	30	62	26	0	0	0	0	227
計	236	257	263	264	259	247	279	225	246	276	252	268	3072

表36 令和元年度 要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	66	93	90	93	62	60	31	30	31	18	16	0	621
要介護2	30	31	30	31	31	30	62	60	62	31	29	31	458
要介護3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	521
要介護4	120	124	120	124	155	150	155	150	155	186	174	186	1613
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31
計	246	279	270	279	279	270	279	270	279	266	248	279	3244

2. 年間行事実績

表37は、令和元年度中に実施した行事、活動状況を示す。

表37 行事実施状況

月	行事計画	実施	月	行事計画	実施
4	花見 夏野菜植え付け 誕生日会	花見：福江ダム公園(4/10) レタス：ネギ(4/20) 誕生日昼食会(4/27)	10	誕生日会 ドライブ 畑・花壇の整備	誕生日昼食会(10/1) コスモス見学(10/15) 冬野菜の植え付け(10/20)
5	母の日 運営推進会議	外食：三井楽(5/11) 第1回目(5/23)	11	きじの里文化祭 予防接種畑 運営推進会議	文化祭見学(11/17) インフルエンザ接種(11/13) 第4回目(11/28)
6	運動会 野菜の収穫 父の日	きじの里運動会(6/1) ジャガイモ収穫(6/8) 父の日昼食会(6/16)	12	クリスマス会 大掃除 正月飾りつけ	クリスマス昼食会(12/24) 畑・花壇の整備(12/27) 門松飾り(12/28)
7	七夕祭り 環境整備(菜園) 運営推進会議	七夕飾り付け(7/1) 畑の整備：ピーマン、サニーレタス 第1回目(7/25)	1	元旦：新年会 初詣 誕生日会 運営推進会議	新年祝賀昼食会(1/1) 八幡神社備(1/3) 誕生日昼食会(1/15) 第5回目(1/23)
8	納涼祭 盆の準備・帰省 環境整備	きじの里納涼祭(8/3) 墓参り：買い物(8/14~15) 花壇の整備(8/25)	2	節分祭 野菜の収穫 誕生日会	豆まき(2/3) 芋掘り(2/20) 誕生日昼食会(2/24)
9	敬老会 総合避難訓練 運営推進会議	敬老の日食事会(9/15) 避難訓練(9/20) (夜間想定：自然災害) (第4回目(9/26))	3	ひな祭り 誕生日会 総合避難訓練	ひな祭り昼食会(3/3) 誕生日昼食会(3/10) 避難訓練(3/27) (昼間想定：自然災害)

* 訪問看護は毎週月曜日。定期往診は毎月1回。

* 余暇時間はレクリエーション、買い物、ドライブなど。

3. 施設内研修

統一したケアを目標に内部、外部研修を実施した。グループホーム職員としての知識、技術を職員全員が学び資質の向上に努めた。職員全員でマニュアルの見直し業務の改善を行った。

表38 令和元年度施設内外研修会・勉強会の開催状況

開催日	研修会内容	参加者
4月10日	倫理、法令遵守、プライバシー保護、新人研修	7名
5月10日	接遇について(言葉遣いとコミュニケーションについて)	6名
6月10日	事故の発生防止：緊急時の対応について	6名

7月10日	脱水の予防について	5名
9月20日	非常災害時の対応について（避難訓練）	7名
10月1日	リスク勉強会（事故・ヒヤリ発生の要因について）	6名
11月11日	感染症、食中毒、蔓延の対応について	7名
12月9日	高齢者虐待防止、身体拘束、認知症と精神疾患）	6名
1月19日	緊急時の対応について（嘔異物除去）	8名
2月10日	看取りについて	7名
3月31日	避難訓練（昼間想定）、自然災害時の対応	8名

Ⅶ 居宅介護支援事業所きじの里の経営

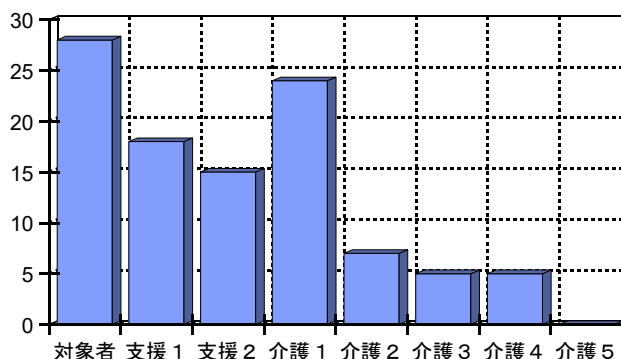
1. 要介護度別利用状況

要介護認定者、総合支援事業による認定者を含め全体の登録者数は減少した。入所、死亡、転出、移管による減少がある。一方で更新や区分変更にて要支援から要介護へ介護度が高くなった利用者が例年より多く、新規利用者もあり要介護者数が前年より増え、全体での要介護者の割合が昨年の26%から40%に伸びている。新規利用者は、医療機関からの紹介が多く、長期入院の受け入れが困難で早期退院を促され短期入所利用により利用開始となる方もおられるが、介護度が高いため比較的早く施設入所され、短期間で相談支援を終了する方もいる。包括支援センターよりの新規受託も数件ではあるが続いている。年齢で見ると約6割の利用者様が85歳を越えている。

表39 利用者の要介護度別登録者

	男	女	合計
事業対象者	2	26	28
要支援1	3	15	18
要支援2	5	10	15
要介護1	8	16	24
要介護2	1	6	7
要介護3	1	4	5
要介護4	2	3	5
要介護5	0	0	0
合計	22	80	102

図3 介護度別登録者数

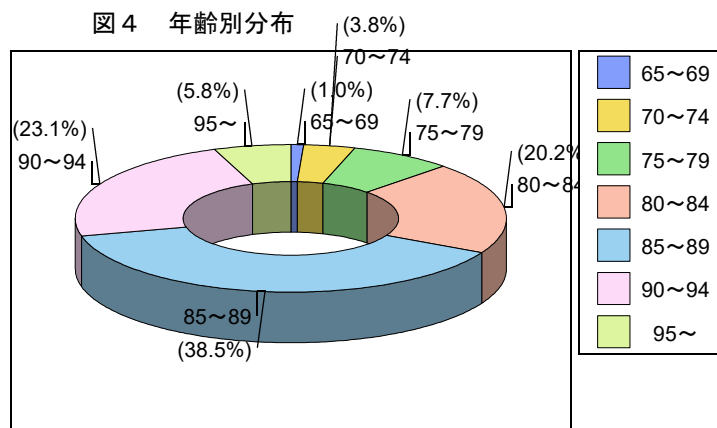


※表39、図3には予防プラン受託者・事業対象者数を含む

表40 年齢別利用者数

区分	男	女	計
65～69	1	0	1
70～74	1	3	4
75～79	5	3	8
80～84	2	19	21
85～89	5	35	40
90～94	8	16	24
95～	0	4	4
合計	22	80	102

図4 年齢別分布



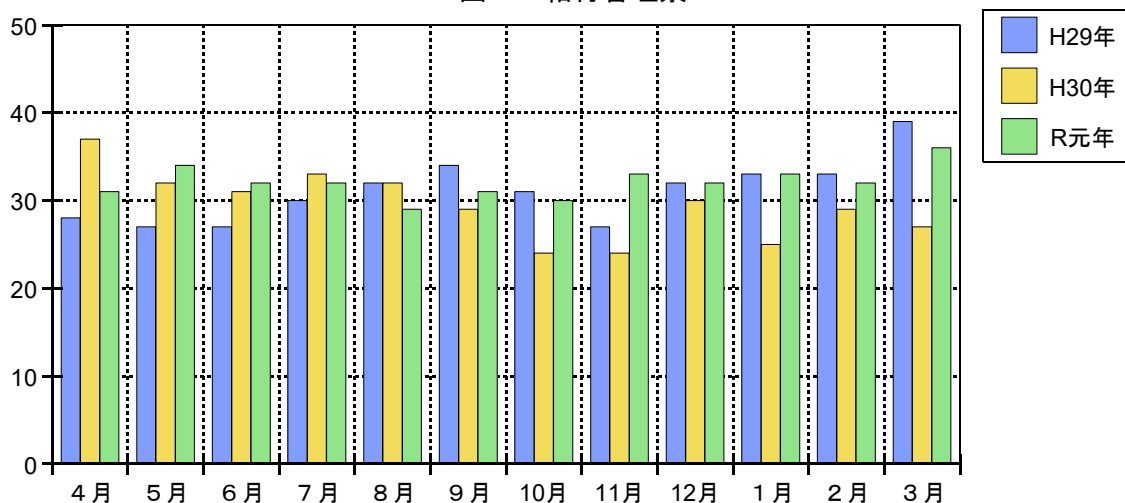
2. 給付管理表の提出状況

要介護者の登録者数は増加し、給付管理票の提出状況は前年より増加となっている。逝去による利用者が3名、入所が5名おられ、要介護から要支援になった方が1名いた。新規利用者としては、健康状態の悪化や転倒骨折により要支援状態から要介護になった利用者の方が11名、退院による短期入所サービス利用により受託する方が4名、新規申請にて要介護となった方も数名もおられた。結果、給付管理件数の増加につながっている。しかし、利用者の中にはサービスの利用を中止されたり、入院中である利用者の方、サービスの利用につながらない利用者の方も数名程おられる。

表4-1 給付管理表の提出状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H26年	23	23	25	26	24	27	29	33	25	26	25	29	315
H27年	28	31	29	30	30	29	30	31	28	27	27	29	349
H28年	28	30	31	31	29	27	27	30	31	32	33	31	360
H29年	28	27	27	30	32	34	31	27	32	33	33	39	373
H30年	37	32	31	33	32	29	24	24	30	25	29	27	353
R元年	31	34	32	32	29	31	30	33	32	33	32	36	385

図5 給付管理票



3. 予防給付プラン・総合支援事業プラン作成件数

利用者が減少の状況ではあるが、総合事業から予防へ移行は少なく、転倒骨折等の原因により予防給付・総合事業から介護給付へ移行が多かった。状態の改善により行き来される事例も少なからずみられている。

表4-2 予防プラン作成状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H27年	44	43	44	46	46	50	43	40	40	34	31	28	489
H28年	26	24	22	17	14	13	11	11	12	13	12	14	189
H29年	12	15	15	13	14	11	11	12	14	13	14	13	157
H30年	13	16	14	14	14	15	16	17	15	15	15	15	179
R元年	14	13	14	14	14	14	12	13	14	13	14	13	162

表 4 3 総合支援事業プラン作成状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H27年							5	8	10	15	23	30	91
H28年	42	48	50	54	54	55	55	55	60	56	55	56	640
H29年	63	59	58	56	56	58	58	58	57	58	60	59	700
H30年	58	56	56	58	58	55	58	57	56	54	53	54	673
R元年	57	55	50	51	49	50	49	43	45	42	40	37	568

VIII 五島市在宅介護支援センターきじの里の経営

1. 事業実績累計

表 4 4 に相談件数を示す。

表 4 4 相談受付件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電 話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪 問	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	4
計	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	4

2. 実態把握件数

岐宿町の配食サービスに関しては判定が厳しいとの声も聞かれていた。前年 33 件に対して 24 件の実績であった。施設入所 2 件、新規申請するも諸事情により中止 4 件。また更新調査時点で時期近接の為、聞き取りで対応し報告したケースが 3 件あり。利用の傾向として独居の男性や女性は身体能力の低下により利用を開始されている。土地柄からか高齢でも野菜などを作り食材を工夫しながら調理を行っている人が多く、配食サービスに頼る人が少ない傾向であるため町内の利用者が伸びていないと思われる。

表 4 5 実態把握件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
配 食	0	2	7	0	2	0	3	0	8	0	2	0	24
計	0	2	7	0	2	0	3	0	8	0	2	0	24

Ⅸ 介護報酬の状況

表46に令和元年度における特別養護老人ホーム（入所事業・短期入所事業・ヘルパ-事業・居宅介護支援）、デイサービスセンター、在宅介護支援センター、認知症対応型共同生活介護事業の収入状況を示す。

特養全体の収入は274,027千円で前年度（278,310千円）と比較して4,283千円の収入減となった。

短期入所生活介護は新規利用者が少なく収入減となった。

表46 事業別収支状況（単位：千円）

	特別養護老人ホーム						デイサービスきじの里			在宅 介護 支援 センター	グループ ホーム きじ の里	グループ ホーム 清風	デイ 清風
	介護老人 福祉施設	短期入 所生活 介護	訪 問 介 護	居 宅 支 援	支 援 費 ショート	合計	地域 密着・ 型 通所	総合 支援 事業	合計				
1年	234,990	26,521	4,688	7,800	28	274,027	16,656	15,585	32,241	364	35,469	35,529	14,654
30年	235,422	30,563	4,597	7,728	0	278,310	13,112	15,684	28,796	385	34,787	33,115	14,741
増減	△432	△4,042	91	72	28	△4,283	3,544	△99	3,445	△21	682	2,414	△87

29年	230,768	33,326	4,506	7,980	0	276,580	13,628	14,415	28,043	372	34,962	33,545	14,397
28年	229,039	33,072	4,484	7,887	0	274,482	28,622	2,201	30,823	355	33,374	32,975	16,777
27年	230,332	33,854	4,418	6,903	671	276,178	32,626	827	32,453	388	33,322	33,089	20,093
26年	230,363	34,407	4,323	6,102	203	275,398	32,475	1,933	34,408	446	33,263	33,668	16,225
25年	228,380	35,386	3,375	6,457	1,140	274,738	33,047	2,158	35,205	474	33,513	34,504	10,050

X-1 事故、ヒヤリ・ハット発生状況（きじの里）

1. 事故発生状況

表47に令和元年度中における事故発生件数を示す。平成30年度の168件に対して117件で、51件の減少となっている。主な事故は外傷37件（前年度45件）で全体の31.6%、転落8件（前年度26件）で6.8%、転倒30件（前年度20件）で全体の25.6%、滑落7件（前年度17件）で全体の5.9%となっている。

高齢者の皮膚は剥離しやすく、介助面、環境面から細心の注意をはらい起居や移乗毎の皮膚観察やスキンケア等を実施している。また圧迫によるものか、疾患に起因するものなのかその都度看護職員による対応を行っている。骨折は3件（前年度3件）で2件は介助中に発生。誤薬は16件（前年度5件）で増加している。

令和元年度は薬の服薬マニュアルの遵守を再度リスク委員会にて各部署共有を推進しているが多数発生した。発生した誤薬のうち、誤った薬を服用3件、服薬後落ちていた9件、飲ませ忘れ4件である。

表47 事故報告件数（特養きじの里）

事 故		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨 折	介助中	1									1			2
	自力												1	1
	不明													0
外 傷	介助中		2	4	3	4	3	2	3	1	2	1	1	26
	自力		2	2	1	1				2		1		9
	不明	1	1											2
打 撲	介助中	1												1
	自力													0
	不明													0
転 倒	トイレ使用中	1			1			2				2		6
	居室	1	1			2	4	1	2	1			1	13
	車椅子からの立ち上がり		1					1	1					3
	廊下・ホール	1	1		1		1	1		1			2	8
転 落	椅子													0
	車椅子						2			1		1		4
	ベッド		1			2			1					4
滑 落	椅子							1						1
	車椅子					1		1						2
	ベッド		2			2								4
経管パル ン抜去	介助中													0
	自力													0
火 傷	介助中													0
	自力													0
異 食	食べられない物を口に入れた													0
誤 嚥	物をのどに詰らせた	1			1						1			3
誤 薬	誤った薬を服薬						1		1				1	3
	服薬後落ちていた	1	2				1	2	2		1			9
	飲ませ忘れ		1				3							4
外 出	敷地外まで外出													0
その他	車両破損、トラブル	1		1		2	4	1	2			1		12
合 計		9	14	7	7	14	20	12	11	7	4	6	6	117

2. ヒヤリ・ハット報告状況

表48にヒヤリ・ハット報告状況を示す。令和元年度のヒヤリハット総計は470件（前年381件）で前年度と比較して23.3%の提出件数の伸びがあり月平均39件であった。内訳は危険行動144件（前年145件）、滑落102件（前年63件）、転倒76件（前年58件）で全体の68.5%を占めている。

部署別提出では1・2丁目で179件（月平均14.9件）の提出。3・4丁目180件（月平均15件）、5・6丁目59件（月平均4.9件）、デイ7件（月平均0.5件）であった。

1・2丁目では転倒、転落、滑落、危険行動が80%を占め、3・4丁目では危険行動、滑落が73.3%、5・6丁目では滑落、危険行動が33%を占めた。デイでは転倒が42%を占めた。

薬の誤配に関しては昨年からのマニュアル等の読み合わせや再確認を行ったが、3件発生している。

表48 ヒヤリハット報告件数（特養きじの里）

ヒヤリハット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
トラブル	利用者同士の暴力・暴言														
転倒	転倒しそうになる	3	6	7	3	3	6	4	8	5	6	5	1	57	76
	転倒したが外傷なし		3		1	2	2	2	2	1	5	3	3	19	
転落	転落しそうになる	2	2	7	2	7	2	3	1	1	2			29	41
	転落したが外傷なし		1		1		2	2	1		2	3		12	
滑落	滑落しそうになる	18	6	14	3	8	2	5	3	5	10	3	4	80	102
	滑落したが外傷なし		1	2	2	1	1	2	3	2	3	3	2	22	
危険行動	自立歩行困難者が歩行した	20	22	12	19	14	12	5	10	11	5	1	4	135	144
	“立ち上がろうとした	1	6			1		1						9	
異食	害にならない物を口にし、はき出した													0	2
	“口にいれようとした									1	1			2	
誤配	薬を誤配し、飲む前に気づいた				1							2		3	3
外出	敷地内外出	3	2	3	1	1			2	6	2			20	20
車事故	利用者乗車中の事故、外傷無													0	
その他	ブレーキかけ忘れ	6	10	15	12	7	8	6	9	2	5	2		82	82
合計		53	59	60	45	44	35	30	39	34	39	21	11	470	470

X-2 事故、ヒヤリ・ハット発生状況（GHきじの里）

1. 事故発生状況

表49に令和元年度中における事故発生件数を示す。令和元年度は4件の事故が報告されている。ご利用者様の心身の状態を把握し、職員間の情報共有を図りながら、安全管理に対する考え方を再認識し業務にあたる事が必要である。また、事故を未然に防ぐ取り組みを強化し介護技術の向上を図るよう取り組んで行く。

表49 事故報告件数（GHきじの里）

	事 故	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		
骨折	介助中													0	0
	自力													0	
	不明													0	
外傷	介助中					1			1					2	2
	自力													0	
	不明													0	
打撲	介助中	1												1	1
	自力													0	
	不明													0	
転倒	トイレ使用中													0	0
	居室													0	
	車椅子からのた立ち上がり													0	
	廊下・ホール													0	
転落	椅子													0	0
	車いす													0	
	ベッド													0	
誤薬	誤った薬を服薬								1					1	1
経管 パルン	介助中													0	0
	自力													0	
合 計		1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	4	

2. ヒヤリ・ハット報告状況

表50にヒヤリ・ハット報告状況を示す。令和元年度は36件のヒヤリ・ハット報告が提出された。主なヒヤリハットは転倒であった。

発生状況から時間帯や発生場所などを分析した結果、同じ時間帯や精神状態に変化がみられる状況での発生が多い。職員1人1人が事例を十分理解し、ご利用者様の精神面、環境の変化による行動の変化を十分把握し支援を行うことが重要である。

また、職員間の連携と情報の共有化を図り事故を未然に防止できるように取り組んで行く。

表50 ヒヤリハット報告件数（GHきじの里）

ヒヤリハット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
トラブル	利用者同士の暴力・暴言													0	0
転倒	転倒しそうになる			1					1	1				3	12
	転倒したが外傷なし		2				1	1	1		3	1		9	
転落	転落しそうになる						1							1	

	転落したが外傷なし							1				2	1	4	5
滑落	滑落しそうになる													0	
	滑落したが外傷なし			1	1	1				1	2		1	7	7
危険行動	自立歩行困難者が歩行した													0	
	〃 立ち上がろうとした													0	0
異食	害にならない物を口にし、はき出した													0	
	〃 口にいれようとした													0	0
誤配	薬を誤配し、飲む前に気づいた													0	0
外出	敷地内外出	1	1							3	2			7	7
その他	ブレーキかけ忘れ、その他		1		2						1	1		5	5
合 計		1	4	2	3	1	2	2	2	5	8	4	2	36	36

X-3 事故、ヒヤリ・ハット発生状況（GH清風）

1. 事故発生状況

事故発生の内容については、居室のトイレ内で排泄後に手すりを握り損ね転倒1件。ズボンを下げたまま歩行し転倒1件。裏玄関から出た際、段差を踏み外し骨折入院1件。誤薬が1件。誤薬に関しては主治医へ報告し指示を仰いだ。

再発予防策として手薄な時間帯の居場所確認、居室内の行動を把握する。誤薬については、基本を忠実に守り、さらに職員間の連携・情報共有の強化に努める。

表5-1 事故報告件数（GH清風）

事 故		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	合 計
骨折	介助中													
	自力										1			1
	不明													1
転倒	介助中													
	自力		1											1
	不明													
	廊下・ホール													1
誤嚥	急変（意識消失など）													
誤薬	誤って他人の薬をのんだ				1									1
その他	利用者同士のトラブル													
	車両破損、トラブル		1											1
合 計			2		1						1			4

2. ヒヤリ・ハット報告状況

令和元年度は報告件数41件だった。不穏（不眠、排泄、疎通の困難など）行動を観察、記録、気づき等の申し送りを確実に行った。入眠前、早朝時の同じ方の危険行動等が繰り返されている。又、環境の変化や精神状態の変化などによる危険行動等が多くみられた。その都度原因を探り、検討しながら対応した。今後も安心して過ごせる環境、心身の安定に努める。日々の観察をヒヤリハットに反映させ未然の事故防止に繋げていきたい。

表52 ヒヤリ・ハット報告状況（GH清風）

ヒヤリハット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	合計
転倒	転倒したが外傷なし													
	転倒しそうになる	2			1	1					1	1	1	7
転落	転落しそうになる													
	転落したが外傷なし					1					1			2
滑落	滑落しそうになる							1						1
	滑落したが外傷なし													1
危険行動	歩行困難者が歩行した		2	2			1		1	1				7
	“立ち上がろうとした、膝折れ		1	1					2	1			1	6
	“トイレ使用									1				1
	“移乗、起きあがり	1					1					1		3
異食	無害な物を口に入れ、吐き出した													
誤燕	誤燕しそうになる				1									1
外出	外へ出ようとした													
急変	急変（意識消失など							1	1			1		3
介護	皮膚剥離トラブル				1	1	1	1	1					5
ミス	車椅子のブレーキかけ忘れ					1					1			2
その他	利用者同士のトラブル				1									1
	ベッド上での危険行動											1	1	2
合計		3	3	3	4	4	3	3	5	3	3	4	3	41

X I 生計困難者対策実施状況

社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減制度における、令和元年度の減免実績（減免した延べ人数、施設が負担した額）を表53に示す。

本年度の施設サービスにおける減免対象者は延べ315人、減免額は4,062,155円であった。また、居宅サービスにおける減免対象者は延べ17人、減免額は161,368円であった。きじの里全体では、減免対象者は延べ332人、減免額は4,223,523円であった。

表53 利用料減免額

きじの里	のべ人数	1割負担分	食費	居住費	不明	負担額合計
施設サービス	315	565,899	923,790	2,572,466		4,062,155
居宅サービス	17	25,296	43,876	92,196		161,368
合計	332	591,195	967,666	2,664,662	0	4,223,523

X II 生計困難者レスキュー事業実施状況

平成28年8月から社会福祉法人の新たな地域貢献として「生計困難者レスキュー事業」が開始された。長崎県内の社会福祉法人が参加。資金を拠出して基金を創設し、生計困難者に対して生活保護費支給や給与支払いなどで生活の目処が付くまでの一定期間、食料品、日用品の現物支給、光熱費等の支払いを無償で行っている。

今年度「きじの里」では4件の支援を行った。支援結果は以下の通りである。社協1件、五島市社会福祉課保護班より3件の依頼があった。

表54 令和元年度レスキュー事業実施状況

	食料品	日用品	宿泊費	合計	支援理由
事例 1	18,596	4,671	0	23,267	生活保護受給決定までの支援
事例 2	18,763	0	0	18,763	生活保護受給決定までの支援
事例 3	2,156	0	0	2,156	保護費受給日迄の支援
事例 4	5,060	0	0	5,060	給与振り込みまでの支援
合計	44,575	4,671	0	49,246	